



## 町田小山ヶ丘地域でスタートする新プロジェクト！

東京都の一般住宅を併設したサービス付き高齢者向け住宅整備事業に採用されたプロジェクトがスタートしました。今回は、桜美林大学の協力の下、学生向け住宅、ファミリー向け住宅を整備します。今回はプロジェクトの概要、設計士の設計のコンセプトや間取り案の説明を行い、参加者と共に意見交換を行いました。

### プログラム

- 2015年2月27日（金）14時～16時
- 21名参加（法人12名）
- プロジェクトの概要説明（株式会社コミュニティネット）
- 設計コンセプト説明（株式会社プラスニューオフィス）
- 質疑応答・意見交換  
（木造住宅のこと、間取り、大学との連携など）

## 未来を創る！100年コミュニティ in 町田



イメージパース図

### 今後の開催予定

- 第3回 3月27日（金）13時半集合（淵野辺駅）
- 第4回 4月21日（火）13時半集合（小田急多摩センター駅）
- 第5回 5月29日（金）13時半集合（小田急多摩センター駅）

### 設計のコンセプト

(株)プラスニューオフィス 瀬戸健似さん

ゆいま〜る那須、多摩平の森、厚沢部、高島平の設計を担当してきました。木造にした理由は、鉄筋コンクリート(RC)構造よりも、コストが安いということ、何よりも木のぬくもりと温かみにあふれた場所にしたいという想いがありました。中央の敷地内通路を軸に、庭園、野菜畑、レストラン、ギャラリー、セミナー、ワークショップなど多目的で一体となって使える広いコミュニティスペースをつくりたいと考えています。町田ヒルズハウスプロジェクトでは、学生、高齢者、ファミリーの多世代のコミュニティの場をつくっていききたいです。



### スタッフより 木のぬくもりのある暮らし ゆいま〜る那須の事例から



ゆいま〜る那須は、八溝杉を使った高齢者住宅です。木造住宅の良さは、その空間にいると「体が開いてくる」ことが体で感じられるところです。無垢の床材の上を素足で過ごすのはとても気持ちいいものです。冬でもヒヤツとした感じがしません。課題としては、生活音が多少響くことです。生活音は当たり前と考える人、全く音がしない生活が寂しい方もいます。部屋の広さについては広い方がいいという人もいれば、反対に狭い方が落ち着くという人もおり、自分がどんな暮らしを居心地がよく感じるかを考えることが大切だと思います。

## 意見交換の声

- 多世代の交流が目的だと思うが、居住スペースと交流スペースがどのように接点をもつのか、連携するための交流のツールが見えると良い。(女性60代)
- 共有スペースがあるなら、部屋は寝るだけなのでコンパクトでも良いのでは。(女性60代)
- 最期を迎える時には、ゆったりと死にたい。食事を作ったりすることも認知症予防になると思うので、充実したものに。(女性70代)
- コミュニティ空間の中で、お花を植えたりしたい。共用の空間があることで、楽しみながら、自分の表現をみんなに楽しんでもらえるが良い。(女性60代)
- 町田小山ヶ丘地区の近年の発展は目覚ましいものがある。高齢化も加速しており、地域に高齢福祉のニーズは高まっている。地域ケアの仕組みづくりに貢献していきたい。(町田市介護事業者)
- 大学との連携など、期待できるものが大きい。(町田市介護事業者)



## プロジェクト概要

一般住宅を併設したサービス付き高齢者向け住宅整備事業(平成26年10月27日)

- 1) 事業者名: (株)ナルド、(株)コミュニティネット
- 2) 建設予定地: 町田市小山ヶ丘1丁目14-1
- 3) 戸数: サービス高齢者向け住宅: 60戸(31~50㎡)  
一般住宅: 40戸(25~60㎡)計100戸
- 4) 竣工予定: 平成28年度



## つくる会に寄せて

町田小山ヶ丘で暮らし続けるしくみをつくる会は、今回で2回目を迎えました。今回は「春に寄せる思い」と題して、参加者の方にはスタッフも交え、ご挨拶いただきました。「さくら通りに住んでいて桜が咲くのが楽しみだが、花粉症で困る…」等、春に寄せる思いは人それぞれ。この会は、参加者皆さんのさまざまなご意見をいただきながら進行しています。ぜひ、お気軽にご参加ください。